

少団連シンボルマーク



# 少団連だより

編集発行：船橋市少年少女団体連絡協議会 事務局：船橋市教育委員会青少年課内 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 TEL 047-436-2902

## 船橋市少年少女団体連絡協議会

会長 黒坂典雄



船橋市少年少女団体連絡協議会には、大きな二大行事があります。その一つは船橋市少年少女交歓大会です。今回は46回を迎え5月12日に夏見の運動公園で行いました。前年の10月より実行委員会、運営委員会を数回行い半年間企画を練り上げました。「えがおあつまる みんなのひろば」をサブテーマに船橋市の子どもの笑顔が運動公園にいつぱいになるような企画を諸団体をお願いいたしました。特に子ども達にとって普段経験できない元プロ野球選手の野球教室や、体育館でのお化け屋敷など長蛇の列になるなど、子ども達にとって楽しい一日であり、

良き思い出づくりが出来たと考えております。前日は、大変な雨の中の準備、これで明日は交歓大会が出来るとか心配しましたが、開会式の頃から青空が出てとても良い交歓大会になりました。参加人数は、延べ6800人と多くの方々が登場され、楽しい一日を過ごしていただきました。

二つ目の行事である25日目の船橋市・津別町青少年交流事業は、8月3日〜7日までの4泊5日の日程で子ども37名、リーダー4名、指導者5名で津別町にお邪魔しました。毎日30度を超す猛暑の船橋市から飛行機で津別町に降り立ちました。津別町は、16度とすこし肌寒い気候で迎えてくれました。船橋市とは違い、とにかく広い大地とまっすぐな道に驚かされました。網走監獄やオホーツク流水館を見学し、中央公民館での交歓会に臨みました。交歓会では、津別町の町長初め多くの方々の歓迎を受け感激いたしました。その後、子ども達は、ホームステイ先に移り船橋市では体験できない楽しい二日間を過ごしました。後半は、津別町の皆さんの企画による網走川でのラフティング体験をしました。船橋市では体験できない川下りは、子ども達にとって最高の思い出になったでしょう。その後、中央公民館でのテント生活体験、木工体験など、津別町のスタッフの心温まるおもてなしに感激いたしました。楽しかった交流事業も無事に終わりました。船橋市に戻ってきました。いつまでも

## 日本ボーイスカウト船橋地区

### 楽しかった三年間

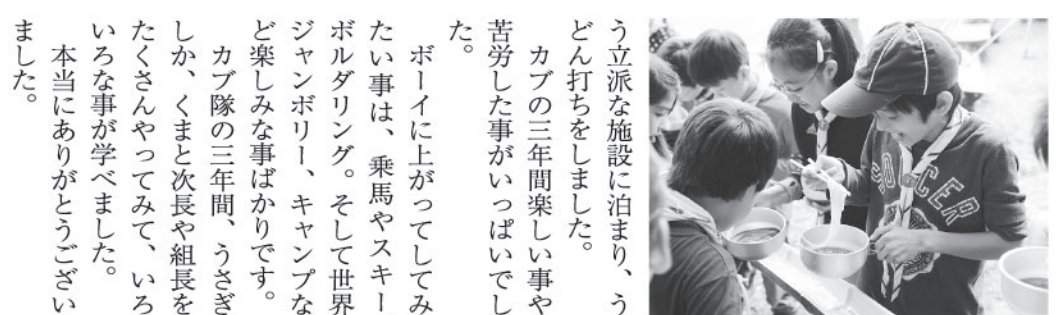
小5 麻生良輔

ぼくが、今までの活動の中で一番楽しかったことは今年の夏キャンプです。流しそうめんやバーベキューなどの、ふだんよりいろいろな食事が出たり、いつものテントではなく、ゲルに泊まれるといういい体験ができて、カプ隊最後の夏キャンプとしてとても良かったです。

ほか、今までの活動の中で一番楽しかったことは今年の夏キャンプです。流しそうめんやバーベキューなどの、ふだんよりいろいろな食事が出たり、いつものテントではなく、ゲルに泊まれるといういい体験ができて、カプ隊最後の夏キャンプとしてとても良かったです。



4月にやったフェンシング体験では、やり方やルールをしっかりと学べました。試合では勝ったり、負けたりもしたけどおもしろかったです。去年の夏キャンプでは川遊びやカヌー体験をしました。



ボーイに上がってみたい事は、乗馬やスキー、ボルダリング。そして世界ジャンプ、キャンプなど楽しみな事ばかりです。カプ隊の三年間、うさぎ、しか、くまと次長や組長をたくさんやってみて、いろいろな事が学べました。本当にありがとうございました。

## 船橋市野球協会少年学童部

### 全国大会を振り返って

小6 安川しおり

私が一番心に残った試合は、全国大会の準決勝です。相手は栃木県で、最初は三打点リードされていて私たちが追うという展開でした。六回に皆がヒットを打つたり私もねばってフォアボールを選んだりするねばり強さで流れがこっちに向いてきました。そして、

皆の星に出たいという思いが強くなっていき、満塁になりました。その後四番相澤さんの内野安打で二点目が入りました。二点とってまだまだ満塁というチャンスでの六番萩原さんの二塁打が決勝点となり私たちは勝つことができました。この試合は私にとって一生忘れ

## 船橋北部リトルリーグ

### 全日本に向かって

小6 平尾一真

ぼくは、船橋北部リトルリーグで主将をやっています。アンデルセン公園の近くの、緑に囲まれた素晴らしい場所です。ぼくたちは、毎週厳しい練習に励んでいます。チームでは、四年生以下のマイナーと、五年生と六年生のメジャーの二つに分かれています。



チームの目標は、全日本選手権出場です。この大会は、世界にもつながる大きな大会です。ぼくたちは、この大会に出場するために、毎週厳しい練習に励んでいます。ぼくたちは、監督、コーチに、技術面だけでなく、物の大切さや感謝の気持ちなどを教えてもらっています。そのおかげで、精神的にもとても強くなったと感じています。この夏の大会に向けて、最高の仲間と練習に取り組んでいきたいと思っています。



ぼくたちと、このチームで野球をやりませんか。やりたい人は、いつでもグラウンドで待っています。なっかっていきました。今ではもう、最高の仲間であり、大切な友達です。





大にぎわいのもぎ店



あと少しだ頑張れ〜



高根中学校吹奏楽部

あつまれ!!  
みんなの

フェスティバル

えがおあつまる  
みんなのひろば



第46回

# 船橋市少年少女交歓大会

平成25年5月12日(日)



千葉ロッテマリーンズによる指導



リズムにのってキッズダンス



フライングディスクゴルフに挑戦



和太鼓の勇姿



毎年人気のフワフワ

## 船橋・津別青少年交流協会

「ホワイトスクール」に参加して

小5 西村悠都

ぼくは初めて「ホワイトスクール」に参加しました。導員さんがわかりやすく教えてくれたおかげでブルークボーゲンやパラレルターンができるようになりました。グレンドを直角降ですべれたときはとても気持ちよくて、北海道でまたスキーをしたい!と思いました。三番目は、初対面の人たちとの旅行でしたがすぐにみんなと仲良くなれたことでした。最初はスキー板をつけて歩くことさえも

## ガールスカウト船橋市連絡会

「体験の風をおこそう  
親子でチャレンジ・デイキャンプ」  
に参加して

小3 坂本琴美

初めて参加しましたが、雨で少し残念でした。でもたくさん体験コーナーがあり、中でも私が一番楽しかったのは、「夜の森におじゃまします!」コーナーでした。森の中を、目かくしをしてロープをつかみながらゴールまで歩きます。カーブがあったり、木にぶつかりそうな所があったりして、転んでしまうかと思いましたが



す。たくさん面白いできごとと友達との交流から生まれたことでした。来年も「ホワイトスクール」に参加したいと思います。指導員の皆さんありがとうございました。

小3 鈴木咲恵

最初に、ストラックアウトのコーナーで、紙皿を使ってフリスビーを作りました。雨が降っていたので、水性ペンで書いた絵が分からなくなりましたが、まとの新聞紙に当たって良かったです。2回作ってチャレンジしたけれど、今度はなかなか当たりません。でも面白かったです。お昼ごはんの時にはおいしい豚汁を食べました。その後は、キャンプ場のひなごうの中で「遊びリンピック」のゲームをしました。進化じゃんけん、負けるが勝ちじゃんけん、最後のゲームでは、あともう少しのところまで負けてしまいメダルがもらえませんでした。残念でしたが楽しかったです。また来年は何をやるのか、今から楽しみです。





### 船橋海洋少年団

#### 海洋少年団の全国大会

小5 梅田 牙人

昨年の夏、海洋少年団の全国大会は東京で行われました。ぼく達は代々木にある国立オリンピックセンターに泊まりました。各部屋にベッドがあり、食堂でのご飯も美味しく、ホテルみたいでも良かったです。また、ガイドブックはたくさんあって、言葉で書いてあり驚きました。

開会式が始まると偉い人や女優の川島海荷さんも来てくれました。ぼくたちは船橋団は小学生なのに他の団は中学生や高校生、大きい人ばかりでした。外国の団員も来ていました。競技は結さく・手旗・カッターがありました。

ぼくは、三年の冬に船橋リトルに入団しました。冬に入団してとても寒く、心細かったけど先ばい達に

その先ばい達は引退してしまいましたが、ぼくは船橋リトルの主将としてチームを思いっきり引っ張っていきたくです。

### 船橋リトルリーグ

小6 都築 将太郎

ぼくは、三年の冬に船橋リトルに入団しました。冬に入団してとても寒く、心細かったけど先ばい達に

ぼくは、三年の冬に船橋リトルに入団しました。



ぼくは、三年の冬に船橋リトルに入団しました。冬に入団してとても寒く、心細かったけど先ばい達に



各競技が終わった後は、海王丸という帆船に乗船しました。白い帆も大きな帆がたくさんある大きな船でした。学校の教科書に海王丸みたいな帆船が載っていると、ぼくはこれに乗船したんだと、とても自慢したくなりました。とてもいい経験ができたと思います。

また、そのなかでもお母さん達はお茶当番お父さん達はグラウンド設置のお手伝い等を協力してもらっています。だからこそ、船橋リトルで野球ができています。試合に勝って恩返ししたいです。

また、そのなかでもお母さん達はお茶当番お父さん達はグラウンド設置のお手伝い等を協力してもらっています。だからこそ、船橋リトルで野球ができています。試合に勝って恩返ししたいです。



### 船橋交通少年団

#### ローカル線の旅

小6 関口 智子

11月24日(日)に「ローカル線の旅」に行きました。西船橋駅から東西線で日本橋まで行き、地下鉄銀座線に乗りかえて渋谷駅へ。井の頭線に乗って吉祥寺駅まで行きました。渋谷駅で、井の頭線に乗りかえる時に、紅葉もすごくきれいでした。大きな鯉もたくさんいました。植

10月20日に、私たち夏見地区ジュニアリーダーズクラブは公民館まつりで焼きそば作りと販売をしました。当日は寒くて雨が降っていましたが、こんな天気なのでお客さんが来てくれるか不安でした。けれど地域の人が来てくれて、とても嬉しかったです。今回、初めて自分たちで準備から販売までやってみて、大変だったけど、喜んでくれる方々がいたので、参加して良かったと思います。

また、このような機会があったら進んで参加していきたいと思っています。更には、みんなが楽しめる様な行事を企画したいと思っています。

また、このような機会があったら進んで参加していきたいと思っています。更には、みんなが楽しめる様な行事を企画したいと思っています。



って、「キス」をしてくれました。動物園では初代の象のハナ子さんにあえてとっても感激してしまいました。又、行ってみたいですね。

## 入団・入会をお待ちしております

少団連構成団体		入会要件・問い合わせ先	少団連構成団体		入会要件・問い合わせ先
日本ボーイスカウト船橋地区	私たちは、個人の資質をのばし、社会と世界に役立つ青少年を育てています。	●幼稚園年長組～大学生年代 ●育成者・指導者 地区事務局 437-5222 月・水・土 10:00～13:00	船橋海洋少年団	広い海を訓練の場とし、水泳・手旗信号・カッター操練やヨットにて航海訓練などを行います。	●小学校1年～高校生までの健康な男女 飯山満町2-508 千葉病院 466-2176 林兵衛
船橋北部リトルリーグ	竹の中の球場に集まれ、野球少年!! 素晴らしい環境の中で、おもいっきり硬式野球をやってみませんか。きみの仲間達がまっています。	●幼稚園児～6年生 (男女) 457-3973 黒川	船橋リトルリーグ	野球が大好きな小学生みんなおいで! 世界大会をめざそう!	●小学校1年～6年生 (男女) 449-8854 吉田
船橋市野球協会少年学童部	市内の軟式野球クラブで組織する団体です。代表となったチームは、県大会や全国大会でも活躍しています。	●小学校1年～6年生 (男女) 449-3375 藤田	船橋交通少年団	当団は、交通安全思想の啓蒙のため、情熱ある青少年と指導者を求む。	●小学生～高校生 (男女) 438-8187 入江
船橋・津別青少年交流協会	冬、津別の子どもの交流はホワイトスキー、今年度も36名で津別へ、次は皆さんも!	●幼児～中学生 (男女) ●高校生以上 (指導者) 401-3765 小川	船橋市子ども会育成連絡会	市内各単位子ども会との連絡調整を図るとともに、ジュニアリーダーの育成を目的としています。	●就学前3年の幼児～高校生 ●成人及び指導者 462-3331 黒坂
ガールスカウト船橋市連絡会	少女と女性が、自然や仲間と交わる様々な活動を通じて、ゆたかに生きる力を育てます。	●幼稚園年長～高校生年代の少女 ●18才以上の女性 (指導者) 463-2194 宮崎			

お気軽にお問い合わせ下さい





飛行機でさあ出発!



8月6日 15°C!



覚えておこうロープワーク

平成25年8月3日(土)~7日(水)

# 船橋市・津別町 青少年交流事業



阿寒湖で、はいポーズ!



網走川でラフティング

平成元年から始まった船橋市と津別町(北海道)の子ども達との交流事業です。本年度は、船橋市の子ども達が津別町を訪問し、網走川下りや木工体験をとおして、津別町の子ども達と交流を深めてきました。



おいしかったバイキング



キンボールで熱く交流



網走川の生き物調べ



## 船橋市・津別町青少年交流事業参加者感想文

たのしかったホームステイ

小5 地蔵原 悠羽

8月3日。ぼくは初めて津別町に行った。初めての町で、初めてのホームステイ。楽しみな気持ちもあったが、不安な気持ちもいっぱいだった。公民館で受け入れ先の兼平さんを見た時、やさしそうな人だと思った。その予想は大当たり。ぼくのことをやさしくむかえてくれて、ぼくは、ほっとした。

兼平さんは、ぼくを色々な所へ連れて行ってくれた。一日目の夜のほたるが、ほたるの光が小さくて残念だったけど、船橋では見たことのない景色だった。二日目は美ほろとうげとまじゅう湖に行った。北海道の自然は、山も湖も、ぼくが想像していた以上に美しく、素晴らしかった。その中でも兼平さんの友達の小麦畑を見学させてもらった時のことが一番印象に残っている。小麦といえば、白く粉になっていた物しか知らなかったのが初めて見たとき、景色をまた見たいと思う。



## 少団連研修会

船橋市青少年女団体連絡協議会の研修会が12月1日(日)に船橋市役所で開催されました。講師に千葉大学名誉教授 明石要一氏をお迎えしての講演会でした。

明石氏は、千葉大学の教授はもとより青少年文化の研究に精力的に取り組んでおられる方です。講演の中で、放課後の時間に体験活動が有るか無いかで子どもにとって大きな格差が出てくる。放課後の体験が豊かな子どもは、物事に対する

興味や関心が高く、好奇心も旺盛で授業にも意欲的に取り組むようになる。体験行動には、三つのパターンがある。第一は「生活体験」遊びや手伝い、家庭や地域の行事への参加。第二は「自然体験」自然の中での山登り、川遊び、キャンプなど。第三は「社会体験」ボランティア活動や職場体験などである。

青少年団体の活動に参加している子どもと、参加しない子どもでは、大きな違いが出てくる。参加している子どもは限られている時間を有効に使うため勉強の成績は良く、自然体験や社会体験を経験することにより社会科や理科、家庭科が得意である。

この様に体験を多く積むことにより、人格的に成長し、社会に出てからも社会性を身につけた大人になるでしょう。私たち青少年団体は、子どもたちに多くの体験をしてもらうよう企画を立て実践していこうと思えました。